各社が誇る、現場で活躍する社員

安全な暮らしを守る仕事

荏原実業
環境システム東日本本部
東関東支社　主任
原田　典明さん

■インフラ関係を針路に

就職活動中は地図に残るような仕事、インフラ関係や建設関係を針路として考えており、「水と空気」をテーマに環境ビジネスや社会インフラに携われることに魅力を感じて入社しました。入社して8年になります。静岡支社を振り出しに、研究開発部門を経て、今年度から公共インフラ設備を主体とする本部の東関東支社に配属となりました。

これまでのキャリアでは上水と下水のそれぞれの現場に従事し、外部との共同研究にも関わってきました。現在の仕事は、雨水排水ポンプの修繕や浄化センターの機械設備の修繕対応などです。大雨による被害が激甚化する中で、雨水排水に関する施設設備を整備することは、人々の安心安全な暮らしを支えることにつながっていると思います。今後は、社会や環境に貢献する自社製品の普及にも注力していきたいです。

■被災地支援に従事

能登半島地震の復興支援は強く記憶に残っています。私たちは津波被害で稼働停止したマンホールポンプ設備の交換とともに、破断してしまった管路に遠隔で通水状況が分かる水位情報システムを設置しました。緊急時での作業となったため、通常の工事と段取りも異なりました。加えてマンホールからの溢水にも注意を払わなければならず、常に高い集中力が求められる緊張感のある現場でした。作業に当たり心掛けたのは、自治体や他企業の方と協働しながら、一日も早い復旧を目指してスピード感のある作業を行うということです。支援を通じて、ライフラインを守るために当社の技術が役立っていることを肌で感じました。

■仕事は一気通貫で

受注から施工管理、アフターフォローまで一気通貫でできることが当社の魅力です。営業の段階から従事していた案件が無事に完了し、施設が稼働した時の達成感は大きなものです。私は文系出身で、機械工学などの専門知識を持っていないところからのスタートでしたが、先輩や上司のサポートを受けて製品・技術への理解を深め、何件もの工事を手掛けることができました。

当社はメーカー事業とエンジニアリング事業、ポンプをはじめとする風水力機器を販売する商社事業の三つの事業軸で事業を展開しています。事業別に求められる能力が異なりますが、フォロー体制がしっかりしているので、どの部署でも社会に「心地よい環境」をもたらすことができる人材に成長できます。専門知識がなくても先輩や上司の親身な指導やアドバイスの中で理解を深められます。そういう体制がしっかりしていることも特長の一つだと思います。専門が違っても、恐れず飛び込んできてほしいですね。

ライフプランと仕事の両立も

オリジナル設計
エムイーエンジニアリング1課
髙井　慶彦さん

■ライフプランに合致

大学院を出てから、プラントエンジニアリング企業での数年の勤務を経て、オリジナル設計に転職しました。当社は9年目になります。

前職では数年後の海外勤務を前提に国内の現場を転々としていました。業務そのものには不満はなかったのですが、自身のライフプランを考えた時に拠点となる地域で腰を落ち着けて働きたいという思いが強くなり、転職を決意しました。

当社を選んだのも、1カ所で働くという希望が叶いやすい環境にあったことが決め手となりました。私は施設設計を担当していますが、当社の施設設計部門は東京と大阪の2拠点のみのため、腰を落ち着けて働くという点でまさに希望通りの環境です。

■成長できる職場環境

所属するエムイーエンジニアリング1課では、処理場内の機械設備の設計を担当しています。最近は更新設計がメインで、現在の流入水量や水質などに基づき、最も費用対効果が高い最適な能力の設備となるように設計を行います。

下水道施設の設計には入社して初めて携わりましたが、国や各協会が発行している指針・マニュアル類に準拠する場合が多いため、未経験でもこうした参考図書を読み込むことで仕事を一から勉強できる職種であると考えています。

また昨年に子どもが生まれたのですが、育休も3カ月間しっかりと取得できました。上司を含め職場の方々が心よく送り出してくださり、社員のライフイベントに対する理解もある会社であると感じています。今年3月には、技術士の資格を取得しました。社内での勉強会の開催など資格取得に向けたフォローアップ体制も整っており、努力次第で自らのキャリアアップを図れる環境です。

■領域の広さが魅力

東京の施設設計部門では、北海道から静岡までをカバーするため、出張する機会も多々あります。オンラインツールも活用しますが、初めての現場では自治体の担当者や、下水処理場の維持管理会社の方と対面で意見を交わす場を設け、「何を求めているのか」という現場の思いを汲み取るようにしています。

コンサルタントは、発注者となる自治体から施工会社や維持管理会社に至るまであらゆる情報に触れることのできる立場にいます。より上流のビジョンや基本計画に携わる業務では、自治体の意思決定にも関わることができ、その領域の広さが魅力の一つです。難しい判断を求められる場面も多いですが、その分、自らの裁量が大きい仕事でもあります。興味が湧いた方がいましたら、ぜひチャレンジしてみてください。

水を仕事にする魅力、やりがい

市民生活を支える提案

極東技工コンサルタント
大阪本社　営業部
大畑　颯太さん

■生活に欠かせない存在

当社に入社してから今年で3年目になります。学生時代は、ラグビーに打ち込み、大学2年生と4年生のときには全国大会にも出場しました。上下水道と特に接点のない生活を過ごしていましたが、就職課の先生の紹介で当社を知り、生活に欠かせない水がどのように届けられているのかまったく知らなかったことからこの業界に興味を持つようになりました。

当社は、上下水道をはじめとする水に関わる環境関連施設の企画・調査・計画・設計を手掛ける「水&環境の総合コンサルタント」です。私は営業担当として、主に地方公共団体に伺い、各々が抱える課題をヒアリングし、解決に向けたサービスの提案業務を行っています。

■知識と経験の積み重ね

当社は、製品を販売するのではなく事業を企画・提案する会社であるため、その点で難しさを感じる場面もあります。営業担当には課題解決に向けてどのような価値を提供できるのか具体的に説明する力が求められます。入社当初は知識も浅く、お客さまの前で言葉に詰まることもありました。それから経験を重ねる中で、困ったときには先輩たちからアドバイスを受けつつ、市民生活を守り続けるために適切な提案ができるよう日々勉強に励んでいます。

また、入社してからしばらくは福岡県にある西日本支社に所属していましたが、今年から大阪本社に配属となりました。赴任してから日が浅いこともあり、現在の業務の大半は初めて顔を合わせるお客さまへの対応となります。関係性がまだ築けていない間柄であっても円滑なコミュニケーションが図れるよう、上下水道事業に関する最新の動向やトピックスを幅広く把握しておくよう努めています。

■社員に寄り添う職場

当社の魅力は、活発なコミュニケーションと風通しの良い職場環境にあります。業務上で分からないことがあれば、すぐに相談できる上司や先輩方が近くにいて、専門的な知識を一から学習できる体制も整っています。さらに、ワークライフバランスを大切にした制度も充実しており、オンとオフをしっかり切り分けて働ける環境です。

私は水に関する知識がない状態で入社したので、当初は不安もありましたが、困っている社員を放っておかないよう先輩たちが寄り添ってくれるので心配ありません。建設コンサルタントに少しでも興味を持たれた方には、ぜひ当社を志望先の一つに加えていただけると幸いです。